



# 滋賀短期大学 学報

2018. 6. 1

No. 83

## CONTENTS

[学長メッセージ/P2]

[各学科長、役職教員からのメッセージ/P3~4]

[特集1/P5]

卒業証書・学位記授与式、卒業記念パーティー

[特集2/P6]

入学式、フレッシュマンセミナー ほか

[新入職員・退職職員ごあいさつ/P7~8]

[Shiga・Tan・Information/P9]

同窓会だより、就職状況、免許資格取得状況 ほか

[学外実習報告/P10~11]

[学内情報/P12~16]

入試情報、短期大学行事等開催状況、  
教育研究活動報告、図書館だより、公開講座 ほか



滋賀短期大学

〒520-0803 大津市竜が丘24-4 滋賀短期大学 広報・図書委員会  
電話(077)524-3605  
ホームページアドレス <http://www.sumire.ac.jp/tandai/>



学長メッセージ  
Message

# 「心技一如」を活かして 小さくてもキラリと光る 大学に

滋賀短期大学学長 秋山 元秀



校門の桜が満開であった入学式から2か月が過ぎ、新緑の眩しい季節になっています。大学に通う道筋から見える琵琶湖とその背後の山並みは本当に美しく、近江の情景を愛した芭蕉が「行く春を近江の人と惜しみける」と吟じたように、これから夏に移ろうとしている今こそ一番味わい深い時節かもしれません。短期大学が創設された当初、本学がもつ優れた点の一つとして立地の良さ、眺望のすばらしさが必ずあげられているのも当然だと思えます。

これに並んで本学の誇る点として挙げるべきはその歴史でしょう。大正7年（1918）の松村裁縫速進教授所開設を純美禮学園の創立としていますから、それから数えれば100年の歴史があることとなります。短期大学の創設はそれから約50年後、昭和45年（1970）になりますから、短期大学だけでは100年の歴史とは言えませんが、裁縫速進教授所から受け継がれている「心技一如」の精神は、脈々としてこの短大に活かされているわけですから、私たちも100年の歴史を共有していると言えるでしょう。歴史は時間がたてば自動的に意義あるものになるわけではありません。経過した時間のなかで創業以来の精神を受け継ぎ発展させ、そこに時代に即した新しい息吹を吹き込み、本当の意味での再生をくりかえしていくことがあって初めて意味ある歴史と言えるでしょう。50年とか100年という節目はそのことを考えるよい機会です。今年の純美禮学園100周年を祝う中で、私たちも創業の精神を踏まえ、これからの本学のありかたを考え、適切な方針をうちだしていかなければならないでしょう。

かつては大学の自治、学問の自由という大義のもとに、大学の社会的役割とか、受け入れた学生への責任などということはあまり意識せずにすんだ時代がありました。大学に限られたエリート層のためにあり、そこでの教育研究はそれ自身で価値あるものとされ、それが外部の世界とどのようにつながっているかは別の次元のことだとされていたように思います。実学と虚学という分け方をすれば、学問の本質は虚学的なところにあり、実学はその二次的応用分野であるというような考え方です。しかし近代自然科学の発達はこの虚学・実学の壁を突き抜けて、近代社会を展開する原動力になりました。方法論としては自然科学の影響を受けながら、目的としては社会貢献を目指す社会科学、さらにもっとも虚学的であっても、深遠な知恵にもとづく哲学や文学などの人文学を抱え、かつての、あるいは今も多くの大学は一定のバランスが取れてきたのだと思えます。

ところが短期大学は「深く専門の学芸を教授研究し、職業又は實際生活に必要な能力を育成する」ことを目的としているので、すから、上記の言い方をすればはっきりと実学としての教育研究を目的としているということになります。しかし本学では先述のように「心技一如」を建学の精神としています。ここでいう技（わざ）はまさに実学でしょうが、心（こころ）とは技をうみだすその人の心根、精神性を現わしているといわれます。これは単に技術や形だけではなく、その技を支える精神力、知恵、そして技を磨いて生まれる豊かな人間性を指しているのにほかなりません。

私はこのたび佐藤尚武前学長のあとを受けて純美禮学園滋賀短期大学の第7代の学長に就任させていただきましたが、「心技一如」という一句には熟考するべき深い意味が込められているのではないかと考えています。空虚な観念論や抽象的な精神論ではなく、着実な具体性、実践の経験を踏まえた知恵、一步一步ゆるやかではあっても確実な歩みで高所にたどり着く粘り、こういうものを身につけることがどれほど大切か、それをもって高い精神性も得られるようになるのだということを一言で言い表しているようです。

少し前になりますが、滋賀県知事を経て国政で活躍された武村正義氏に「小さくともキラリと光る国・日本」というタイトルの本がありました。日本は経済や政治だけで大国を目指すのではなく、環境など、それまでとは別の原理で国際貢献や国づくり、町づくりにとりくむべきである、そうすれば世界に向けて輝く国になれると説いたものでした。「小さくともきらりと光る〇〇」というのはちょっとした流行語になり、〇〇が会社や店舗であったり、県や町村であったりして、今の三日月知事も、県のホームページで「小さくともキラリと光る輝き」というタイトルで「小さくともキラリと光る滋賀県」をつくらうと呼びかけておられます。実は〇〇に大学を入れるのもすでにあり、北海道の名寄市立大学短期大学部がこのスローガンを掲げています。

したがって今さら「小さくともキラリと光る大学」というのは二番煎じのようで困るのですが、私は本学こそこのタイトルがふさわしいと思います。それは「心技一如」という建学の精神に基づくことによって、より意味のあるタイトルになると思います。スローガンだけではなく、具体的にどうするのか、何をするのか、がないと「心技一如」に反することになります。これからそれを始めていきますので、ご支援ご鞭撻をいただくようお願いしてご挨拶いたします。

## 各学 科長

### からのメッセージ

Teaching staff-Message

先生のキモチ、  
伝えます



#### 食を通して地域の未来づくりに貢献

生活学科 学科長 中平 真由巳

生活学科は、今年度から「食健康コース」と「製菓マイスターコース」の2コース編成で食に特化して船出します。ここでは食生活を科学、文化、実践面など様々な方向から学び、真に豊かな食と生活について探求します。

各コースでは栄養士をはじめ栄養教諭、製菓衛生師など専門的な知識と技術を必要とする資格が得られ、学生たちの多様な働き方を後押しします。各分野の授業では、講義で学んだ理論を実習に活かす実践的なカリキュラムを備えて食のスペシャリストを育成しています。

当学科では地域と一体になって食を通して地域の未来づくりに取り組んでいます。食健康コースは魅力あふれる滋賀の郷土料理の教材化を地域の研究会と進め、理論に基づく食育や健康づくりを滋養の食を通して実践できる地域で輝く栄養士を育てています。製菓マイスターコースは地域団体や企業と連携し、学びを地域に活かす実践的な活動や経験を通して、お菓子・パンを作る豊かな心の土壌を養っています。地域と共に育つプログラムの構築により、学生たちは地域とのつながりを力に夢を形にして活躍しています。

本年度から、食健康コースでは厚生労働省の推進する社会人のための2つの雇用支援制度プログラムを取り入れました。社会人のブラッシュアップに門戸を広げて地域の社会人の学び直しニーズに応えて応援していきます。

本学での学びの機会を存分に活かし、社会に貢献できる食の専門家としての土台を一緒に築いていきましょう。



#### 保育者として大切にしなければならないこと

幼児教育保育学科 学科長 荻田 純久

今、日本の幼児教育、保育は大きな変革の真っ只中にあります。免許資格を取得するために学ばなければならないことが見直され、それが平成31年度入学生から日本全国の養成校のカリキュラムに反映されていきます。簡単に言うと授業科目が変わっていく訳です。今年度入学された皆さんは、現在のカリキュラムで免許資格を取得する最後の学年になります。

皆さんの後輩が入学する段階で、なくなる授業もあれば、新たに設置される授業もあります。入学年度によって学ぶことが変わりますが、学生の皆さんは混乱する必要は全くありません。それは、<保育者として大切にしなければならないこと>が変わる訳ではないからです。

皆さんが入学してから卒業されるまでにさまざまな授業を受ける訳ですが、そうした授業を受けていく中で<保育者として大切にしなければならないこと>について学んでいきます。それは、これまでの幼児教育、保育の歴史の中で、一人一人の保育者が子どもたちや保護者の方としっかりと向き合う時に意識してきたことであり、また保育者から次の保育者へとしっかりと受け継がれてきたものでもあります。皆さんも是非受け継いで欲しいと思います。



#### 挨拶はビジネスの基本

ビジネスコミュニケーション学科 学科長 小山内 幸治

先日、パナソニックに勤務している大学時代の友人と、女性で著名なコンサルティング会社にシニアコンサルタントとして勤務している大学の後輩の三人で食事をする機会がありました。パナソニックの友人が、「4月中は、新入社員が研修で挨拶をきちんとするように指導されるので、廊下ですれ違うたびに、新人が元気よく挨拶してくれて気持ちがいい」という話をしていました。女性の後輩も、「挨拶は重要で、仕事ができても挨拶がちゃんとできない人は評価されないことが多い、まずは挨拶が大事」と話していました。企業にとっても挨拶は重要であることがわかります。

今年は、学生に対し、折に触れて、「ビジネスの基本は挨拶だ」ということを徹底しています。ビジネスでは挨拶は非常に重要視されます。挨拶は相手を尊敬し思いやる心の反映だと考えられます。また、初めて会う人に敵意がないことを示すための儀礼でもあります。初対面の人と会ったときは、双方にある種の緊張感が存在します。挨拶は、その緊張を解きほぐすことができます。挨拶によって、相手と話すきっかけをつくることができるということです。最近はコミュニケーションをとるのが苦手だという学生が増えていますが、挨拶がきちんとできないことが一つの原因となっているのかもしれない。

今年の学科の目標の一つに、「明るく元気に挨拶する」ということを挙げたいと思います。挨拶は社会人として必要な、もっとも基本的なことだと考えます。みんなで明るく元気に挨拶をしましょう。そして明るく元気な滋賀短大をつくっていきましょう。教職員の皆様、学生の皆様、ご協力よろしくお願いたします。

# 役職 教員

## からのメッセージ

Teaching staff-Message



### アクティブラーニング

教務部長 清水 まゆみ

新入生の皆さん、大学の授業には慣れてきましたか？2回生も含め、授業ではアクティブラーニングを意識してもらえたら、と思います。アクティブラーニング(能動的学習)とは、教員から一方的に知識を学ぶのではなく、学生が主体的に参加し、協力しながら課題を解決する方法をいいます。具体的な手法として、学生同士の討論やグループワークなどが挙げられます。アクティブラーニングという言葉は大学教育で使われ始めましたが、小学校、中学校、高校や企業でもこの方法が採り入れられており、経験した人も多くことでしょう。能動的に学習することで、知識や技術の習得がより確実なものになります。本学でもアクティブラーニング化を推進していますので、学生の皆さんは積極的に参加してください。授業中に解決できなかった場合は、オフィスアワーで担当教員が質問や相談を受けます。また、ラーニングコモンズでは授業だけでなく、基礎学力、就職活動、課外活動にも対応するなど、サポート体制を整えています。短期大学では2年間という非常に短い期間に、実に多くの事柄を学びます。能動的な学習でひとつずつ、確実に習得していきましょう。



### 未来の自分に自慢できる学生生活を！

学生部長 原 知子

満開の桜から2か月、今年は特に寒暖の差が激しかったですが、体調管理は大丈夫でしょうか？生活リズムは整ってきましたか？さて、4月には明確だった新しい年度の目標が、そろそろ日常生活に埋もれてきていませんか？短大生活で目指していること、就職のこと、今の悩み、自分の夢、等々、率直な自分の気持ちを「卒業する日の私へ」といった手紙にしてみませんか？立てた目標にとらわれなくてもよいのですが、「確実に成長した」「自分の殻を打ち破った」と将来の自分が感じることができるような学生生活になるように願っています。自分を見つめるにはもう一つ、色々な人とかかわってみましょう。日々の勉強だけでなく、クラブ活動や学校行事、地域の行事など、協力し合って何かを成し遂げる中で互いの個性が見えてきます。苦手で多少し勇気を出して時間をやりくりして経験を積み重ねてみませんか？学生生活を10倍20倍エンジョイできたというおまけもついてくるはずですよ。「しんどい中で頑張ったこと」こそ、振り返った時にはきらりと輝く思い出になるのではないのでしょうか？



### 「目配り」「気配り」「心配り」

学生募集部長 山中 博史

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。数多くある大学、短期大学、専門学校の中から本学を希望して頂き、心からお礼申し上げます。

本学を選ばれた契機として、実際に本学のオープンキャンパスに参加して決定した方も多くことでしょう。オープンキャンパスでは、教職員だけでなく、皆さんの先輩になる学生が、真摯にスタッフとして対応してくれました。

現役の学生とはいえ、スタッフとしての厳しい研修を受けており、当日は、皆さんの対応をしたことと思います。研修の中で最も重要になるのが、「目配り」「気配り」「心配り」という三つのトピックです。スタッフ一人ひとりが、このトピックを常に心がけながら、担当になった仕事を十分に果たしてくれました。「気配り」と「心配り」の違いは何かといえば、「気配り」にはマニュアルがあるが、「心配り」には決してマニュアルがないことです。当日スタッフとして対応した学生は、この「心配り」の難しさを痛感していました。

本学において、ビジネスコミュニケーション学科が創設された折、最も重要とすべきキーワードとして、「ホスピタリティマインド」を挙げました。分かりやすく訳せば、「おもてなしの心」すなわち、「心配り」といえるかもしれません。

本学での2年間の学びを通して、「目配り」「気配り」、そして「心配り」のできる真の「ホスピタリティマインド」を持った人材に育ててくれることを切に願って止みません。



### 頭の中に広がる宇宙

図書館長 深尾 秀一

この度、図書館長に就任することになりました。これまでの図書館長及び委員の方々のご尽力を受け継ぎ、本学図書館の発展のために誠意努力したいと思いますので、よろしくお願いたします。

さて、皆さんは「図書館」に対してどのようなイメージを持っておられるでしょうか。本や雑誌が読める、勉強ができる、情報の収集ができるなど、図書館のイメージは人それぞれでしょう。私にとって「図書館」は、様々な物が渦巻いている宇宙のような感じがします。そしてそれは自分に常に新しい感動を与えてくれるものであり、生きる楽しみにつながるものです。滋賀短期大学の図書館には約86,000冊の蔵書があり、約1,500点のDVDなどのAV資料があります。皆さんの目の前にある膨大な量の未知の世界に、足を踏み入れないのはもったいないとは思いませんか。それはきっと新しい物との出会いと、自分発見の契機になります。ぜひ図書館を大いに利用し、自分の世界を広げ、知の宇宙を楽しんでください。

【特集1】

Feature

1

## 第47回卒業証書・学位記授与式

ビジネスコミュニケーション学科 准教授 杉山 潤

3月15日、本学体育館において第47回卒業証書・学位記授与式が執り行われた。当日は素晴らしい晴天に恵まれ、晴れ着に身を包んだ卒業生達の表情にも例年にもまして爽やかな表情が見てとれた。二年に及ぶ取り組みを終えた安堵感とその間に得た良き人間関係を胸に、これから社会人として新しい環境に溶け込み活躍する決心を持った卒業生一人ひとりの姿にはたくましさを感じられた。

式辞として佐藤尚武学長から松下幸之助の言葉を引用して職業を通

して人となりやを磨くこと、稲盛和夫氏の言葉から職業人として正しく生きることの重要性を説かれた。また、本学も卒業生と連携して社会に出た後も職業人としてのより良い働きができる助けとなるような取り組みの展開を計画しており、本学の教育理念の根底にある「心技一如」であることを強調された。

学長式辞、卒業生代表謝辞の後、「螢の光」の斉唱をもって閉式となった。



## 卒業記念パーティ

学生自治会 会長 中村 友美

3月15日、びわ湖大津プリンスホテルにて卒業記念パーティが盛大に行われました。この企画や進行が自治会新執行部メンバーでの初の仕事となりました。執行部の先輩がいない中、初めてのことで不安ばかりでしたが、卒業される2回生の方々にとって大学生活最後の良い思い出になるように、どうすれば楽しんでもらえるか、こうしたらスムーズに進むのではないかなどと、私たちに案を出し、計画しました。当日は、スムーズに進行できるように、確認し合ったり、2回生が困

っていたら声をかけたりなど、「皆さんが楽しめるように」心がけました。写真のスライドショーを見ている際や食事をしている際など、みんな笑顔で先生や友達と話されていました。皆さんが笑顔なのは、それだけ楽しかった、嬉しかった思い出があり、共有されているからだと思いました。今回の仕事で学んだこと、気づいたことを生かして、これから自治会新メンバーで、学生生活が感動的なものになるように、頑張っていきたいと思っています。



## 平成30年度入学式

生活学科 特任助手 池之内 愛子

天候にも恵まれ、竜が丘の桜がほとんど葉桜になろうとしている4月3日、平成30年度滋賀短期大学入学式が本学体育館にて執り行われました。保護者や来賓、教職員などたくさんの出席者が見守る中、生活学科57名、幼児教育保育学科129名、ビジネスコミュニケーション学科107名の計293名が式に臨みました。入学を許可された293名の名前が読み上げられ、新入生を代表して幼児教育保育学科の白土育恵さんが入学宣誓をされました。期待と希望を胸に、やや緊張した面持ちの新入生が印象的でした。

秋山元秀学長は、式辞において本学創立の歴史や“純”“美”“禮”の由来などを述べられ、これから2年間学んだことを活かして周囲の人々と豊かな生活を実現してほしいと激励の言葉を贈られました。

みなさんが楽しく充実した2年間を過ごせるよう、教職員一同精進して参ります。



## フレッシュマンセミナー

幼児教育保育学科 准教授 前川 頼子

4月6日びわ湖大津プリンスホテルに於いて、新1回生を対象にフレッシュマンセミナーが開催されました。

学長挨拶、副学長による本学の建学の精神である「心技一如」についての説明があり、観世流能楽師吉波壽晃氏による能について「能を通じて見る日本の心」～花は心 種は熊なるべし～を聴き、新入生から希望者を募って、同門の方の指導で、すり足での歩き方、腕の動かし方、能面をつけて動いてみる、といった体験を行いました。休憩後には、学歌の練習をしました。場所を移動してのフルコースのフランス料理を体験しながら食事のマナーも学ぶことができました。その後各学科に分かれて、生活学科ではグループを作り新聞紙を使って服を作る「パピエアラモード」を行い、幼児教育保育学科では、こどもアートクラブによる歌の演奏で始まり、続いて2回生が手遊びを指導し、成果を披露して楽しみました。ビジネスコミュニケーション学科では、名刺を使った「出会いゲーム」また、グループ毎にビンゴゲームで順位を競い合いました。

新入生と教員とのコミュニケーション、新入生同士の相互理解、またゼミの親睦を深める良い機会であったと思います。



## 学生自治会執行部の紹介

学生自治会 副会長 今坂 詩歩

私たち自治会執行部は、2年間の学生生活をより良くするために、学生を代表して、様々な活動を行っています。5月の学生総会、6月の体育大会、11月の純美禮祭（学園祭）、そして、3月卒業記念パーティーの企画運営が大きなイベントです。

自治会活動では、地域のボランティアに参加することもあり、その中で同年代以外の人たちとの関わり、発見をすることができます。ここで身につけた社会性、コミュニケーション能力は、自分の中の大きな財産になると確信しています。

滋賀短期大学での2年間をどう過ごすかは、あなた次第です。学生の皆さんが楽しんで笑顔になれるような企画を私たちと一緒に取り組み、滋賀短期大学を盛り上げていってくれる人を心からお待ちしております。

是非よろしくお願いします。



# 新入 職員

ごあいさつ

New staff-Message

よろしく  
お願いします

### 有意義な学生生活を

生活学科 教授  
笹倉 千佳弘



今年度より滋賀短期大学生生活学科に勤務することになりました。専門は教育社会学で、これまで、貧困や虐待など困難な状況にある子どもの実態や、そのような子どもを支えようとする取り組みについて勉強してきました。授業では、子どもをめぐるリアルな現場の姿をお伝えできればと思っています。

長いようで短い短期大学の2年間。みなさんが有意義な学生生活を送ることができるよう、全力でサポートするつもりです。よろしくお願いします。

### 挨拶があふれる滋賀短期大学!

ビジネスコミュニケーション学科 特任教授  
中村 吉弘



シティホテルで43年間勤めた経験を活かし、具体的な事例や体験談を映像やパワーポイント等を使い分かり易い授業を行っています。担当科目は「ホスピタリティ論」、「ホテル業務概論」、「プライダル論」です。特に、「ホスピタリティ(おもてなし)」とは「相手が欲することを察知して行うこと」です。そのためには「まず、挨拶!」です。皆さんとともに「挨拶があふれる滋賀短期大学!」にしていきたいと思っています。

大津はいいところですね。  
よろしくお願いします。

幼児教育保育学科 特任教授  
林 幸範



今年度から、幼児教育保育学科に勤めることになりました。東京生まれの東京育ちですが、縁があり大津に住んで4年となりました。大津は風光明媚なので、とても満足しています。

現在、保育・教育現場で特別支援教育に携わっています。子どもや保護者、保育士や幼稚園教諭の日々の活動などを学生さんに伝え、将来役立てられればと思っています。そして、学生の皆さんの夢を実現できるように微力ですが尽力したいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

### がんばります

入試広報センター室長  
吉澤 松美



この4月から入試広報課でお世話になっております。これまで主に高等学校に勤務しており、生徒を送り出す側でした。現在は学生を受け入れる側となりました。短期大学の勤務は初めてですが、これまでの経験を生かして本学発展のためお役に立ちたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

### 共に学び、新しい発見を!

乳幼児総合研究所 非常勤職員  
大橋 明子



今年度より、乳幼児総合研究所、すみれがーでの担当をさせていただきます。

3月までは保育士として、保育園で働いていました。自分の経験やノウハウを生かしつつ、学生のみなさんと一緒に学び、新しい発見をしていきたいと思っています。

みなさんの学生生活が充実したものになるようお手伝いできる存在になればと思っています。どうぞよろしくお願いします。

### 夢を応援します

美術準備室 嘱託職員  
吉野 香

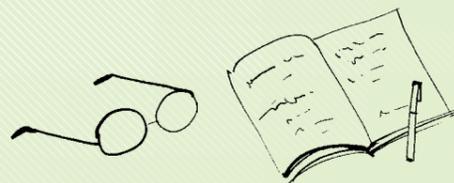


4月より、幼児教育保育学部の美術準備室で嘱託職員としてお世話になっております。

私自身、滋賀短期大学幼児教育保育学科に社会人入学して資格を取得し、この3月まで保育園で勤務しておりました。保育現場では滋賀短大で学んだことのすべてが大切だと実感しておりました。その経験を活かして、学生のみなさん一人ひとりの夢が実現するよう、サポートができればと思っています。どうぞよろしくお願いします。

# 退職 職員

ごあいさつ



前学長 佐藤 尚武

## 学長を退任するにあたって

滋賀短期大学の学長として、6年間にわたってご支援とご協力をいただきましたこと、心よりお礼を申し上げます。本学園の教職員はもとより、地域の企業体や自治体等の関係機関の多くの方々にご厚情を賜っておりまして、誠にありがとうございました。

純美禮学園は本年でもって100周年を迎えます。また、短期大学は2年後に開学50周年を迎えることとなります。このような大きな節目を契機として、新たな歩みが始まるう

としています。短期大学は学生募集を始めとして厳しい状況下にありますが、これまでの実学教育の伝統と実績を踏まえ、堅実な教育研究のもとに、地域との連携の拡充を図りながら、地域に根ざした高等教育機関としての力強い取組を期待してやみません。附属高等学校や附属幼稚園との連携のもとに、滋賀短期大学がますます発展されますことを祈念しております。

## 退職にあたって

生活学科 前特任教授 柳父 立一

私は1980（昭和55）年度から4年間、滋賀女子短期大学幼児教育学科で初めて大学教員として奉職し、大阪女子大学、大阪府立大学、畿央大学を経て、2016（平成28）年度に再び滋賀短期大学の教員（生活学科）となり、2018（平成30）年3月末に退職いたしました。ずっと一大学で定年まで勤める人は珍しくはないと思いますが、あちこちに勤務して最後に最初の大学に戻る人は珍しいのではないかと思います。38年前は3号館はまだなく、1号館と2

号館のみでした。久しぶりの短大では、大木に迎えられ歴史の積み重ねを感じさせられました。

現在の滋賀短大の教育で特に強く感じたのは、いろんな課題を抱えた学生一人一人に丁寧に対応して、なんとか卒業・就職まで支援していこう、という全体的な意志です。短期大学を必要とする人たちにとって、救いとなる存在としてこれからも頑張っていたきたいと祈念しています。

## 退職にあたりご挨拶

幼児教育保育学科 前教授 手良村 昭子

平成18年に本学に着任し、12年の教員生活を送らせていただきました。

幼児教育保育学科は保育士養成としては歴史のある学科です。毎年、多くの保育者を目指す学生の方たちと関わり、保育の職に就くための様々な学びの過程を指導していくことは、本当にやりがいのある素晴らしい仕事でした。また、12年間関わらせていただいた乳幼児総合研究所の子育て支援事業「すみれがーでん」では、大学ならではの子育て支援事業の在り方を学ばせていただきました。25年度に念願の「子育て支援教育プレイルーム」を開設できたの

はとても嬉しいことでした。研究所の所長としては1年だけの兼務でしたが、引き継いでくださる先生方に思いをつなぎ、更なる発展を願っております。

新天地の大阪総合保育大学では、学問としての保育学を確立できるよう更なる研鑽を積み、頑張っていこうと思っております。

最後になりましたが、学生の皆さんの輝く未来を願い、教職員の皆様のご健勝と滋賀短期大学のますますのご発展をお祈りいたします。ありがとうございました。

皆さんに、お知らせやニュースをお届けします！

# Shiga・Tan・Information

## 同窓会だより

**【新入会員のお知らせ】**

●平成30年度新入会員（平成30年3月卒業生）

生活学科・・・72名  
 幼児教育保育学科・・・138名  
 ビジネスコミュニケーション学科・・・56名  
 計266名

●年次評議員  
 生活学科：西澤亜佑菜さん、藤丸あかねさん  
 幼児教育保育学科：嶋利 結さん、南井大河さん  
 ビジネスコミュニケーション学科：桑原琴音さん、所 弥涼さん

●評議員 南井大河さん

**【平成30年度同窓会総会・懇談会のご案内】**

今年度も総会の後に、生活学科製菓マイスターコースの金丸政義先生にご指導をいただき、製菓実習を行います。お菓子作りの楽しさをいっしょに体験しましょう。ご参加をお待ちしております。

●日 時：平成30年9月2日(日) 9:00～受付(玄関ホール)  
 9:30～総会  
 10:00～お菓子作り(111教室)  
 12:30～14:30懇談会(本学食堂)

●持参品：エプロン・三角巾・上履き  
 ●会 費：1000円(当日受付にて徴収します)  
 ●申込み方法：  
 ①総会案内状同封のハガキで申込み。  
 ②下記宛にFAXで会員番号・氏名・住所・電話番号を記入のうえ、同窓会事務局077-523-5124に送信してください。  
 ●申込み締切日：平成30年8月17日(金)

## 平成30年度 ホームcomingデーのご案内

【生活学科】 【ビジネスコミュニケーション学科】 【幼児教育保育学科】  
 ●日 時：平成30年9月2日(日) 14時30分～ ●日 時：平成30年11月4日(日) (純美禮祭 2日目 12時～)  
**【申込み方法】** 下記のFAX番号またはメールにてお申込みください。右記QRコードからも申込みます。  
 ●場 所：滋賀短期大学  
 〒520-0803 大津市竜が丘24-4 TEL.077-524-9077 FAX.077-523-5124 Mail : gakusei@sumire.ac.jp



## 平成29年度の就職状況について

**学生支援課 大伴 嘉彦**

平成29年度の就職状況が確定しました。就職率は99.2%。生活学科73名の卒業生に対し、60名の就職希望者で内定者が59名、就職率98.3%。未就職者が1名。残り13名の学生は、アルバイト、家事手伝い、就労支援学校への進路確認が完了しています。幼児教育保育学科140名の卒業生に対し、131名の就職希望者で内定者が131名、就職率が100%。残り9名の学生は、アルバイト、家事手伝いとなっています。ビジネスコミュニケーション学科56名の卒業生に対し、50名の就職希望者で内定者が49名、就職率98%。未就職者が1名。残り6名の学生は、4年制大学へ編入学、専門学校、就労支援学校への進路確認が完了しました。

今年度の傾向は、公務員対策講座が授業として単位化された影響もあり幼児教育保育学科から13名、ビジネスコミュニケーション学科から1名の公務員合格者を出すことができました。今後も学生支援課では、高い就職率を維持し続けるために、学生に対して、就職に対する厳しさを伝え、また寄り添いながら二度と来ない「今」を大切に自ら計画を立て実行できる環境づくりに努めていきたいと考えます。

## 平成29年度 免許資格取得状況

- 生活学科
  - フードスペシャリスト…………… 11名
  - 製菓衛生師受験資格…………… 24名
  - 栄養士…………… 33名
- 幼児教育保育学科
  - 幼稚園教諭二種…………… 120名
  - 保育士…………… 127名
- ビジネスコミュニケーション学科
  - 上級秘書士®…………… 2名
  - 上級情報処理士®…………… 3名
  - 秘書士®…………… 40名
  - 上級秘書士®(メディカル秘書)…………… 1名
  - 日本医師会医療秘書合格…………… 5名
  - 情報処理士®…………… 46名
  - 上級ビジネス実務士®…………… 4名
  - ビジネス実務士®…………… 4名
  - レクリエーション・インストラクター…………… 7名
  - ウェブデザイン実務士…………… 1名

# 学外実習報告

## ■ 子どもから学んだこと ―子どもが大人を誘ってくる―

幼児教育保育学科 林 優花

私は、初めての保育実習で子どもの面白さを実感しました。実習初日は4歳児さんの保育で私はワクワクする気持ちと緊張でいっぱいでした。4歳児さんの保育室に入ると1人の女の子が私の所に来て私の名札を指さし、「あ!はらぺこあおむしや!知ってるー。」と言ったので、他の子も一緒になって、はらぺこあおむしと一緒に私の名札を一生懸命読んでくれました。その女の子のお陰でクラスに馴染むことができ、緊張も解くことができました。



2歳児さんの保育もさせてもらいました。2歳児さんの保育室に入るとおままごとをしていた女の子たちが近づいてきて「だれ?」と興味を持ってもらえて「私の名前は、はやしゆうかといいます。」と自己紹介すると「私は〇〇!」と自分の名前を元よく笑顔で言ってくれて「〇〇ちゃんは、何して遊んでいるの?」と名前を呼んで尋ねるととても喜んで答えてくれました。名前を呼ばれるということは、子どもにはとてもうれしい事なんだと実感しました。その女の子のお陰でそのクラスにも馴染むことができました。子ども達と関わって子ども1人1人の影響や伝わる力は凄いなと思いました。

0歳児さんの保育で外遊びに行った時、タイヤの上を歩いている子どもの手を握って支えていて少し緩めて支えると自分でバランスをとっていたので行動して学ぶのだと思いました。担当の先生方から「林さんは笑顔が素敵やしそれ活かして行ってね。」などとアドバイスをいただき自分の良さにも気づけたので自信になりました。これからは、どう子どもと関われば、保育を楽しめるか、もっともっと探求していきたいです。

## ■ 保育実習を終えて

幼児教育保育学科 中村 友美

私は、「比良保育園」で保育実習をしました。初めての保育実習ということで、全クラスを回らせていただきました。2日に1回のペースで担当するクラスが変わり、そのたびに子どもたちは私を受け入れてくれるのか不安でした。



しかし、自分が不安であれば、子どもも不安になるのではないかと、子どもの気持ちを考えようと思いました。初めて会う人と過ごすのは、怖かったり、不安に思うのではないかと考え、そうならないために、笑顔で積極的に関わろうと思いました。私から積極的に関わることで子どもたちは、私のことを知ることができたり、安心できたのか、「先生と一緒にしたい」「私は〇〇が好き」など、自分の思いを伝えてきてくれたり、自分について知ってもらおうとする姿が見えてきました。このような姿をみせる子は、担当したクラスの1日目より2日目の方が増えていき、子どもに寄り添うことができたのだと実感し、嬉しく思いました。また、子どもと関わるうちに、子どもは、自分について知ってもらおうことが嬉しいのだと学びました。「〇〇が好きなんだね」というと「そうだよ、あとね…」と自分のことについて私にたくさん話してくれる子ばかりで「〇〇できるって言ってたね、すごいな」と会話しているときに、「覚えてくれたの?」と笑顔で言ってきました。その姿から、自分について知ってもらおうのが嬉しいのだと思いました。

今回の実習で「子どもの気持ちを考え、寄り添う」という大切さがわかりました。私は子どもたちと共感し合え、子どもの気持ちに寄り添える保育者になりたいと思いました。

## ■ インターンシップを終えて

生活学科 製菓マイスターコース 大辻 香菜

私は、3月5日から10日までの6日間、デュ・ルヴァンというパン屋さんへインターンシップに行き、実際のパン屋さんの仕事や雰囲気を実験しました。初日は不安でいっぱいでしたが、従業員の方々が優しく丁寧に教えて下さり、楽しく仕事することが出来ました。普段、学校での実習で作る量と比べるとはるかに多く、時間との闘いで、作業の流れに無駄がなく、次から次へと作業があり、パン屋さんの忙しさ大変さを知ることが出来ました。

昨日より今日、今より次のひとつがよりおいしく出来るように限界をつくらないことが成長につながることを教えていただきました。

このインターンシップを通して、お客様により美味しいものを食べてもらえるように努力し続けることが大切であるということを学ぶことが出来ました。



## ■ インターンシップを終えて

ビジネスコミュニケーション学科 下里 梨乃

私はJR長浜駅から徒歩5分ほどにある長浜ロイヤルホテルでフロントスタッフとして5日間実習をさせていただきました。長浜ロイヤルホテルは、建物の形がL字になっているため、ほとんどの客室から琵琶湖を眺望できます。私の担当したフロントスタッフは沢山の業務があったので、とても充実した濃い5日間になりました。

私が最も印象的だった実習内容は、団体様のチェックイン業務です。インバウンドと呼ばれる中国や台湾からの観光客をはじめとした、企業会議や同窓会などの団体様をお出迎えました。団体チェックインの場合は基本的に添乗員さんとやり取りをします。その際に大浴場の場所や夕食・朝食会場の説明なども同時進行で行います。ホテルの施設の場所と営業時間がある程度頭に入れておかなければならなかったため、常に意識して業務に取り組んでいました。



(写真右 本人)

今回のインターンシップで、普段ホテルを利用する側からおもてなしする側を経験してみて気づいたことは、どんな仕事も雑用の繰り返しの繰り返しによって表向き業務が成り立っているということでした。直接お客様と関わる接客業務だけがホテルスタッフではなく、裏方のお仕事があってこそ最高のおもてなしが出来ていることを生で感じる事が出来て、自分の中での仕事への意識が変化したように思います。貴重な体験ができてとても満足しています。

## ■ 滋賀中央信用金庫でのインターンシップを終えて

ビジネスコミュニケーション学科 川村 明日香

5日間のインターンシップでは、地域創生セミナーへの参加や国立印刷局の見学、就業体験など貴重な経験をたくさんさせていただきました。就業体験において、私は後方事務の見学と営業の同行をさせていただきました。お客様と職員の方のお話の中で、お客様がご家族のお話までされていたことが印象的で、金庫とお客様の信頼関係を肌で感じる事ができました。私たちにとって大切な「お金」を預かる金融のお仕事は、お客様との信頼関係の上で成り立っていることを学びました。また、5日間は金融機関の理解を深めるだけでなく、異なる大学、異なる年齢のインターンシップ生と過ごしたことで、たくさん刺激を受けました。今までの自分にはなかった価値観に触れ、自分自身を見つめなおすきっかけとなりました。不安や緊張でいっぱいの中飛び込んだインターンシップですが、自分自身の成長を感じることができ、挑戦して本当によかったと思います。



# 入試情報

## 平成31年度入学試験のお知らせ



A O 入 試 (事前面談)			
区 分	I 期	II 期	III 期
受 付 期 間	7月17日(火)～7月27日(金)	8月13日(月)～8月21日(火)	9月3日(月)～9月19日(水)
面 談 日	8月4日(土)・8月5日(日) どちらか1日(受付後、連絡します。)	8月24日(金)	9月23日(日)
結 果 発 表 日	8月9日(木)	8月31日(金)	9月28日(金)

※AO入試事前面談に本学卒業生の子・兄弟姉妹および在学生の兄弟姉妹が申込みをした場合には、通過判定時に優遇する制度があります。詳細は入試広報センターまで。

試 験 区 分	公募制推薦入試		一般入試	
	前期(専願・併願)	後期(専願・併願)	I 期	II 期
出 願 期 間	10月10日(水)～10月22日(月)	11月26日(月)～12月11日(火)	1月5日(土)～1月22日(火)	2月10日(日)～3月7日(木)
試 験 日	10月28日(日)	12月16日(日)	1月26日(土)	3月12日(火)
合 格 発 表 日	11月3日(土)	12月22日(土)	2月9日(土)	3月15日(金)

以上の他に、大学入試センター試験利用入試、指定校推薦入試、社会人特別入試等があります。平成31年度入学試験等の詳細は、大学案内・入試ガイドをご確認ください。また、本学の主な奨学金制度等は次のとおりです。  
 滋賀短 夢・未来人特待生制度…入試成績により最大で2年間の授業料が「全額免除」となります(返納不要、下記参照)。※詳細は入試ガイドをご確認ください。  
 純美禮学園奨学金(優待奨学生制度)…純美禮学園(滋賀短期大学・附属高校)に兄弟姉妹で2人以上の在籍がある場合は、その弟か妹を対象に授業料の1/2を奨学金(返還義務なし)として支給します。

●オープンキャンパス 6/17(日)、6/24(日)、7/21(土)、7/22(日)、8/19(日)、9/16(日)、12/9(日)、2/10(日)※製菓のみ、3/21(木・祝)  
 滋賀短期大学を一人でも多くの高校生に知ってもらおうと、今年も色々趣向をこらして開催します。受験生のお知り合いがいっぱいいたら、その方にもぜひお声掛けください。詳しくはHPをご覧ください。

●学校見学について  
 滋賀短期大学のキャンパスをいつでもご見学いただくことができます。また、大学案内などの資料を配布しております。  
 【見学受付】  
 平日(9:00～16:30) 入試広報課(077-524-3848)までご連絡ください。大学案内・願書等の資料配布、キャンパス内のご案内をいたします。

### 奨学金制度

**最大で2年間の授業料が「全額免除」となります。**

**滋賀短期大学 夢・未来人特待生制度**  
**(滋賀短 ユメミライ)**

※一旦全額納付した後、入学後(6月頃)給付となる奨学金ではありません。

**滋賀短 ユメミライ プラチナ100**

一般入試 I 期

**2年間の授業料 全額免除**

給付条件:入試成績1～5位かつ得点率90%以上  
2年目の給付条件:1回生における所属学科成績上位30%以内

**2年間 授業料 0円** (入学金等が別途必要です)  
(平成30度入試 実績/3名採用)

**滋賀短 ユメミライ プラチナ50**

一般入試 I 期

**2年間の授業料 半額免除** ※国公立大学と同等の授業料で修学できます

給付条件:入試成績上位20位以内かつ得点率85%以上  
2年目の給付条件:1回生における所属学科成績上位30%以内

**2年間 授業料 36万円/年** (入学金等が別途必要です)  
(平成30度入試 実績/4名採用)

### 検定料減免制度

〈AO入試〉  
〈指定校推薦入試〉  
早期出願割引制度

検定料30,000円が  
25,000円に  
引き下げ!

〈一般入試+センター〉  
同時出願割引制度

検定料60,000円が  
40,000円で  
合格可能性が  
広がる!

### 2019年度 入試・コース名変更点

- コース変更  
**【製菓マイスターコース】 ▶ 【製菓・製パンコース】**
- コース追加  
**ビジネスコミュニケーション学科**  
**【観光・ホテル・ブライダルコース】**  
 が追加され4コースに  
 (2018年5月現在 変更・設置申請中)

# 短期大学行事等開催状況(平成29年12月～平成30年5月)

(総務課に届出済(届出分)の一部を掲載しています。:短大事務局)

## 12月

- 5日(火) 人事委員会、学園100周年事業実行委員会
- 7日(木) 教授会、教学マネジメント部会、SD研修会・教職員人権研修会、すみれがーでん
- 8日(金) 理事会、評議員会
- 10日(日) 公募後期推薦入試・同窓生入試
- 11日(月) 人材育成会議
- 12日(火) 入試委員会
- 13日(水) 栗東高校見学会、滋賀県大学図書館連絡会議
- 14日(木) 臨時教授会、予約奨学生委員会、臨時幼教科会、教務委員会、学生募集委員会、学生支援委員会、広報・図書委員会
- 15日(金) 学園事務連絡会議
- 16日(土) オープンキャンパス
- 21日(木) 企画委員会、全学的研究プロジェクト中間報告、幼教科会、すみれがーでん
- 22日(金) 私学振興共済事業団補助金調査
- 25日(月) 冬季休業(1月4日(木)まで)、生活科会
- 27日(水) 仕事納め

## 1月

- 5日(金) 授業再開、仕事始め
- 9日(火) 月曜日授業
- 11日(木) 教授会、教学マネジメント部会、創立50周年記念事業準備部会
- 13日(土) 大学入試センター試験
- 14日(日) 大学入試センター試験
- 16日(火) 京滋私立短期大学協会特別事業担当者部会
- 17日(水) 補講日、保育所実習連絡協議会
- 18日(木) 補講日、教務委員会、学生募集委員会、学生支援委員会、広報・図書委員会、すみれがーでん
- 23日(火) 企画調整会議
- 24日(水) 研究会準備委員打ち合せ
- 25日(木) 企画委員会、教学マネジメント部会、創立50周年記念事業準備部会、科会
- 26日(金) 後期定期試験(2月1日(木)まで)、理事会、評議員会
- 27日(日) 平野学区連携講座
- 29日(月) 学園100周年記念史委員会、学園100周年事業実行委員会

## 2月

- 1日(木) 教授会、人事委員会、教学マネジメント部会、学内研究会(FD)、スノースポーツ(2月5日(月)朝まで)
- 2日(金) 一般入試I期入試
- 3日(土) ITパスポート対策講座
- 4日(日) 日本医師会医療秘書認定試験
- 7日(水) 入試委員会、秘書検定対策講座
- 8日(木) 臨時教授会、自己点検・評価委員会、教務委員会、学生募集委員会、学生支援委員会、広報・図書委員会
- 9日(金) 秘書検定対策講座
- 11日(日) オープンキャンパス(製菓マイスターのみ)、ITパスポート対策講座
- 12日(月) MOS対策講座
- 13日(火) II回生後期成績交付、MOS対策講座
- 14日(水) II回生後期成績交付、MOS対策講座
- 15日(木) II回生後期再試験、企画委員会、人事委員会、臨時幼教科会、MOS対策講座
- 16日(金) MOS対策講座
- 21日(水) 中間監査
- 22日(木) 学科長会議、科会、すみれがーでん
- 23日(金) 常任理事会
- 24日(土) 幼児教育アカデミー in SHIGATAN、ITパスポート対策講座
- 26日(月) コミュニケーション検定対策講座
- 27日(火) 企画調整会議、SD報告会、学園100周年事業実行委員会、コミュニケーション検定対策講座
- 28日(水) コミュニケーション検定対策講座、SPI対策講座

## 3月

- 1日(木) コミュニケーション検定対策講座、SPI筆記対策講座
- 2日(金) 長期高度人材育成コース事前説明会、コミュニケーション検定対策講座、SPI筆記対策講座
- 5日(月) 一般入試II期入試、長期高度人材育成コース入試、教授会、教学マネジメント部会
- 6日(火) 企画調整会議、合否判定入試委員会、入試運営・監査委員会
- 8日(木) 臨時教授会、地域移動講座運営委員会、中間目標計画の総括会議、SD委員会、学資募集委員会、学生支援委員会、広報・図書委員会、すみれがーでん
- 14日(水) ピアノ基礎講座
- 15日(木) 卒業証書・学位記授与式、卒業記念パーティー(びわ湖大津プリンスホテル)
- 16日(金) 理事会、評議員会
- 19日(月) 新I回生学生証写真撮影・学生生活オリエンテーション
- 20日(火) 新II回生成績交付・教務オリエンテーション、新II回生就職ガイダンス(生活・ビジ)インターンシップ事後指導(ビジ)、教務委員会、実習委員会
- 21日(水) (祝日) オープンキャンパス、ピアノ基礎講座
- 22日(木) 新II回生後期再試験、学長裁量経費支援による教育研究報告会、企画委員会、教学マネジメント部会、科会、すみれがーでん
- 23日(金) 新II回生後期再試験
- 24日(土) 非常勤講師予定者教務説明会
- 26日(月) 新II回生就職ガイダンス(幼教)
- 27日(火) 保育所・施設実習事後指導
- 30日(金) 退職者辞令交付式

## 4月

- 2日(月) 新任教職員辞令交付式、教授会、人事委員会
- 3日(火) 入学式、新任教職員ガイダンス(4月5日(木)まで)、名誉教授授与式
- 4日(水) 教務委員会、I・II回生オリエンテーション、II回生健康診断
- 5日(木) 期首監査、I・II回生オリエンテーション、I回生健康診断、すみれがーでん
- 6日(金) フレッシュマンセミナー(びわ湖大津プリンスホテル)
- 10日(火) 学園100周年記念式典打ち合せ
- 12日(木) SD委員会、附属高校受入れ打ち合せ、教務委員会、学生募集委員会、学生支援委員会、広報・図書委員会
- 19日(水) 部長会議、教学マネジメント部会、企画委員会、ビジコミ科会、すみれがーでん
- 24日(火) 企画調整会議
- 26日(木) 自己点検・評価委員会、生活科会、幼教科会
- 30日(月) オープンキャンパス

## 5月

- 3日(木) 通常授業、教授会、教学マネジメント部会、学内研究会
- 8日(火) 永年勤続職員表彰式、給食経営計画実習食事提供
- 10日(木) 学園創立100周年記念式典
- 12日(土) (幼2)幼稚園前期教育実習補講日
- 13日(日) オープンキャンパス(製菓のみ)
- 17日(木) 自己点検・評価委員会、教務委員会、学生募集委員会、学生支援委員会、広報・図書委員会、学生自治会総会
- 19日(土) (幼2)幼稚園前期教育実習補講日、MOS対策講座
- 22日(火) 給食経営計画実習食事提供
- 24日(木) 部長会議、教学マネジメント部会、企画委員会、すみれがーでん
- 26日(土) (幼2)幼稚園前期教育実習補講日、MOS対策講座
- 27日(日) オープンキャンパス
- 29日(火) 企画調整会議、給食経営計画実習食事提供
- 31日(木) 道の駅会議、入試委員会、科会

12 滋賀短期大学 学報 No.83

滋賀短期大学 学報 No.83 13

# 平成29年度 教育研究活動報告

## 1) 著書

- 清水まゆみ、高橋ひとみ、中平真由巳  
■(共)クックしが 地産食材かんたん新レシピ サンライズ出版 10月
- 荻田純久 ■(共)教育のアイデア 昭和堂 3月
- 手良村昭子 ■(共)コンパクト版保育内容シリーズ「造形表現」一藝社 3月
- 柚木たまみ、松井典子  
■(共)子どもの音楽表現・うたあそび 三学出版 2月
- 松木宏史 ■(共)みらい×子どもの福祉ブック「児童家庭福祉」みらい 11月
- 李霞 ■(共)グローバル人材育成と国際バカロレアアジア諸国のIB導入実態 東信堂 2月  
■(共)1歳児の保育(年齢別クラス運営シリーズ) ばかりのくに 2月  
■新版 教育・保育課程論(コンパクト版保育者養成シリーズ) 一藝社 3月  
■マンガとアクティブ・ラーニングで学ぶ保育内容総論(改訂版) 教育情報出版社 3月
- 北後佐知子 ■(共)新・保育を支える保育実践 保育の原理 福村出版 2月
- 浜崎由紀 ■(共)新・保育を支える保育実践 保育内容総論 福村出版 2月
- 冲山圭子 ■(共)病院事務のための 医療事務総論/医療秘書実務 建帛社 4月
- 伊澤亮介 ■(単)(翻訳)報道と社会批評 ビスタビー・エス 7月

## 2) 本学研究紀要第42号掲載学術論文・研究ノート(2月)(サブタイトル省略)

- 深尾秀一 ■(単)幼児の粘土遊びにおける教材のハンドリングについて  
■(単)造形表現における幼児教育指導者養成の課題
- 李霞 ■(単)滋賀県における保育士の「質」の実態と課題Ⅰ—大津市における調査を手掛かりに—  
■(単)滋賀県における保育士の「質」の実態と課題Ⅱ—草津市・栗東市・守山市を対象とした調査を踏まえて—  
■(単)幼児指導における「遊びを通じた学び」の実現についての一考察—「学びの共同体」理論に着目して—
- 久米央也 ■(単)算数科における主体的な学びの研究  
■(単)幼児期における数量・図形の関心、感覚を高める手遊び歌の研究  
■(単)幼稚園教諭・保育士養成大学におけるコンピュータリテラシー教育
- 松井典子 ■(単)養成校における子どもたちのための表現豊かな弾き歌いの指導法について  
■(共)身体表現と音楽表現の融合を目指して  
■(単)滋賀県ピアノコンクールの参加者数の推移について
- 浜崎由紀 ■(共)絵本の読み聞かせにおける介在者の役割に関する考察
- 山中博史、佐藤尚武  
■(共)幼児における選択反応時間テストの性差及び学年間差
- 伊澤 亮介 ■(単)ベトナムの人形劇とその幼児への教育的効果—ホアン・キム・ズン(Hoàng Kim Dung)著「人形劇芸術と幼少期の審美教育の問題」を手掛かりに—  
■(単)ベトナムにおける王昭君関連文学作品

## 3) 学術論文(サブタイトル省略)

- 原知子 ■(共)兵庫県における行事と行事食の伝承(認知・経験と世代間比較) 日本調理科学会誌 10月
- 手良村昭子 ■(共)幼児教育におけるギター活用の可能性についての覚書—ピアノの補助楽器としてのギターの可能性と問題点—大阪教育大学幼児教育研究室エディケア第38号 3月
- 松木宏史 ■(共)働く貧困層の住まいの実態 社会福祉研究 130号 10月
- 久米央也 ■(単)幼児期における算数的活動を引き出す手遊び歌の研究 近畿数学教育学会誌 第31号 2月
- 伊澤亮介 ■(共)ベトナムの民間における「西遊記」受容—水上人形劇の台本と「西遊傳」の分析から [EX ORIENTE(えくすお rientて)] 大阪大学言語社会学會 vol. 25 3月

## 4) 学会発表

- 中平真由巳、高橋ひとみ  
■(共)地域の宝「ふなずし」を未来に活かす—若い世代へ向けたふなずしアレンジメニューの提案と料理教室— 日本食育学会 5月  
■(共)滋賀県の家庭料理 おやつの特徴—稲作に関わるおやつの文化— 日本調理科学会 9月
- 原知子 ■(共)Most effective conditions of size and volume of potatoes in boiling process based on a porous model 19th Biennial Internatinal Congress ARAHE 8月  
■(共)大阪府の家庭料理 日本調理科学会 8月  
■おやつの特徴:手作りから既製品へ 日本調理科学会 8月  
■(共)兵庫県の家庭料理 季節ごとに見る兵庫のおやつの特徴 日本調理科学会 8月
- 原 知子、中平真由巳  
■(共)アボガド油の加熱調理特性 日本調理科学会 9月
- 灰藤友理子 ■(共)青年期女性における体格と食意識の関連性 日本家政学会第69回大会 5月
- 手良村昭子 ■(共)乳幼児の描画活動に関する一考察2 日本保育学会第70回大会 5月  
■(共)アトリエリスタとの関わりから見る乳幼児の保育 日本保育学会第70回大会 5月  
■(単)絵本「さくらのおひめさま」 絵本学会第20回大会 5月
- 前川頼子 ■(共)子育て支援の視点からあそびを考える—障がい児を含む乳児保育の考察— 日本保育学会第70回大会 5月
- 李霞 ■(単)滋賀県における保育士の「質」の実態と課題—草津市・栗東市・守山市を対象とした調査を踏まえて— 日本保育学会第70回大会 5月
- 久米央也 ■(単)幼児期における算数的活動を引き出す手遊び歌の研究 近畿数学教育学会 9月
- 松井典子 ■(単)身体表現と音楽表現—保育者養成校における「総合表現」の演習授業を通して— 日本音楽表現学会 6月
- 浜崎由紀 ■(共)戦前のキンダーブックの額絵に関する考察—附録及び美術特報号を中心に— 日本保育学会第70回大会 5月
- 江見和明 ■(単)介護旅行サービスの普及に関する現状と課題—ソーシャル・イノベーションの視点から— 日本消費経済学会中部部会 3月
- 伊澤 亮介 ■各劇団に共通する演目に見る水上人形劇の一側面とベトナム民間文学 東南アジア学会関西地区例会 11月

## 5) 演奏会・展覧会

- 手良村昭子 ■絵本「さくらのおひめさま」 東京都美術館43回美術の祭典東京展絵本部門 10月
- 柚木たまみ、松井典子  
■スプリングコンサート アートサロン空 4月
- 柚木たまみ ■ロビーコンサート 生駒市立病院 6月  
■京どり、水嶋育×柚木たまみソプラノデュオ アトリエ・アルティカ 6月  
■フォーレとその弟子たち 京都文化博物館 7月  
■薔薇と音楽のひとつ THE SCREEN 9月  
■秋のロビーコンサート 奈良県総合医療センター 9月  
■第180回クラシックファンのためのコンサート 大阪倶楽部 10月  
■第7回メサイアチャリティコンサート 京都市立京都堀川音楽高等学校ホール 12月  
■フォーレの聖なる音楽 京都文化博物館 12月  
■ザ・タロー・シンガーズクリスマスコンサート 兵庫県立芸術文化センター 12月  
■ノエルコンサート 天満教会 12月

## 6) その他の発表

- 佐藤尚武 ■睡眠健康指導士上級講座テキスト 日本睡眠教育機構 7月  
■睡眠健康指導士上級更新講座テキスト 日本睡眠教育機構 12月

- 久米央也 ■子どもの将来の幸せと 授業改善 初等教育「みずうみ」No146 10月

## 7) 国際的活動

- 小山内 幸治 ■平成29年度日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)「金融リテラシー高度化プログラムの実施と期待形成効果の検証」によるイギリスにおける金融政策の現状および金融教育の実態についての海外調査、英国ロンドン、BOE(Bank Of England)、MAS(Money Advice Service)、日銀ロンドン支店、BOE Museum聞き取り調査実施 2月
- 金澤雄介 ■カリアリ大学図書館にて古サルデーニャ語に関する文献調査 カリアリ(イタリア) 3月

## 8) 主な社会的活動

- 佐藤尚武 ■第14回睡眠健康指導士上級講座 神戸臨床研究情報センター 7月  
■第43回睡眠健康指導士初級講座 神戸臨床研究情報センター 7月  
■第15回睡眠健康指導士上級講座 LMJ東京研修センター 11月  
■第5回睡眠健康指導士上級更新講座 神戸臨床研究情報センター 12月
- 中平真由巳 ■ラムサールびわっこ大使事業 コミュニティセンター野洲 7月  
■滋賀県健康推進員食育セミナー ピアザ淡海 ピアザホール 7月  
■中日新聞 食文化記事 湖国の食 中日新聞 5月  
■滋賀県栄養士会 生涯研修会 草津総合病院あおばホール 12月
- 清水まゆみ ■湖国の食 食文化記事 中日新聞 8月  
■近江美味しいもの KBSラジオ 8月  
■淡海文化講座I 本学 9月
- 清水まゆみ、池之内愛子、岡田香織  
■こども講座 こどもラボトリー 本学 8月
- 原知子 ■滋賀県保育協議会 家庭的保育事業基礎研修講師 本学 7月  
■大津市図書館滋賀短期大学連携講座講師 和邇図書館 9月  
■甲賀市家庭的保育基礎研修講師 甲賀市役所 11月  
■滋賀県子育て支援員研修 大津市勤労福祉センター 12月
- 灰藤友理子 ■竜王スキヤキプロジェクト レンビコンテスト審査員 竜王町勤労福祉会館 9月
- 灰藤友理子、岡田香織、中平真由巳、豊岡真莉、池之内愛子  
■滋賀短Kids 本学 5,6,7,8,9,11,12,12月
- 灰藤友理子、岡田香織、中平真由巳  
■2017おおつ健康フェスティバル 学生たちが取り組む食育の成果物の展示及び食育啓発活動(滋賀短Kids) 明日都大津 10月
- 灰藤友理子、青山美和  
■クリスマスファッションショー びわ湖大津プリンスホテル 11月
- 岡田香織、豊岡真莉、中平真由巳  
■子どもの国チャレンジ宿泊 高島市びわ湖こどもの国 8月  
■近鉄リテラリング×滋賀短期大学 メニューコンテスト 本学 10月  
■さくら坂保育園「発酵食品を使った献立」講座 本学 11月
- 岡田香織、灰藤友理子、中平真由巳、池之内愛子、豊岡真莉  
■すみれがーでん 親子おやつ教室 本学 9月
- 池之内愛子、豊岡真莉  
■スキムミルク講座 本学 10月
- 豊岡真莉、池之内愛子  
■びわ湖こどもの国オレンジリボンイベント びわ湖こどもの国 10月
- 服部聖羅 ■ヘクセンハウスの製作 びわ湖大津プリンスホテル 12月  
■道の駅竜王かがみの里・滋賀短期大学連携企画ひな祭りフェア 道の駅竜王かがみの里 3月
- 荻田純久 ■キンダーカウンセラー 洛東幼稚園 6,7,9月  
■家庭的保育研修講師 本学 7月、甲賀市役所11月  
■地域移動講座 in 高島講師 静里なのはな園 7月

- 深尾秀一 ■第2回幼児造形研究大会びわこ集会講師 附属幼稚園 7月  
■幼児教育アカデミー in SHIGATAN 講師 本学 2月  
■滋賀県多文化共生推進プラン中間評価検討会 座長 滋賀県庁 2,3月  
■在住外国籍の子どもたちへの教育支援活動グループ「日和」事務局局長 瀬田公民館 通年
- 北尾岳夫 ■京都YMCAスキー専門委員 4月～  
■滋賀県スキー連盟常任理事(総務部長) 8月～
- 手良村昭子 ■近畿幼児造形研究会 第42回造形教育六甲研修会講師 兵庫県民会館 8月  
■地域移動講座 in 東近江講師 愛東あいあい幼稚園 10月  
■滋賀県日野町立あおぞら園園内研修会講師 日野町立あおぞら園 11月  
■幼児教育アカデミー in SHIGATAN 2月
- 柚木たまみ ■近江八幡市立桐原保育所保育内容研修会 桐原保育所 8月  
■新年を祝う会コンサート 京都市ふしみ学園 1月
- 柚木たまみ、松井典子  
■地域移動講座 in 甲賀講師 水口北保育所 10月  
■地域移動講座 in 守山講師 エルセンター 1月

- 松木宏史 ■大津市平野学区社会福祉協議会 参与 大津市 通年  
■吹田市地域福祉推進委員会 副委員長 吹田市 通年  
■摂津市地域福祉推進協議会 委員 摂津市 通年

- 前川頼子 ■新任保育者研修会講師 滋賀県立長寿社会福祉センター 6月  
■滋賀県家庭的保育推進事業講師 本学 7・8・9月  
■地域移動講座 in 大津講師 大津市市役所 11月  
■家庭的保育者基礎研修講師 市役所水口庁舎 11,12月

- 李霞 ■「保育とカリキュラム」編集委員 ばかりのくに出版社編集部 4～6月  
■滋賀県教育委員会主催教員免許更新講習講師 滋賀大学教育学部 8月

- 久米央也 ■守山市訪問相談委員 守山市内小学校 通年  
■主体的・対話的で深い学び推進事業実践研究校研究発表会講師 金城小学校 10月  
■守山市幼稚園教諭4歳児学級担任研修会講師 立入が丘幼稚園 11月  
■竜王小学校自主公開授業研究会講演会講師 竜王小学校 1月

- 北後佐知子 ■ファミリー・サポート・センター生野 地域交流会講師 地域コミュニティ・サロンえほん屋 2月

- 松井典子 ■公益財団法人びわ湖芸術文化財団滋賀県立文化産業交流会館事業評価委員 滋賀県立文化産業交流会館 11,12,12月  
■すみれキャリア講座 2017 本学 8,9月  
■大津市子育て総合支援センターゆめっこ こどもあきフェスタ、こどもふゆフェスタ 10,11月

- 浜崎由紀 ■図書館連携講座 in 堅田 大津市立北図書館 9月  
■子育て支援員研修講師 滋賀県立武道館 10月、大津市ふれあいプラザ11月  
■パパとママのための読みがたり講座 まちなか交流館ゆうゆうかん 12月

- 小山内幸治 ■日本医師会認定医療秘書学院連絡協議会運営委員 4月～

- 堀池喜八郎 ■図書館連携講座 in 堅田 大津市立北図書館 11月
- 冲山圭子 ■日本医療福祉実務教育協会専門委員 通年  
■滋賀県教育委員会高大連携講座 8月  
■大阪緑涼高等学校高大接続プログラムアドバイザー 通年  
■大阪市立東住吉中学校キャリア教育実践 講師 1月

- 若生真理子 ■ステップアップ21研修会 講師 (福)とよさとステップアップ21 9月  
■幼児教育アカデミー in SHIGATAN 本学 2月

- 金澤雄介 ■関西言語学会 編集委員  
■図書館連携講座 in 和邇 大津市立和邇図書館 8月  
■すみれキャリア講座 2017 本学 9月

- 江見和明 ■日本消費経済学会 監事 6月～

- 伊澤亮介 ■淡海文化講座I 本学 9月  
■第20回無形文化遺産理解セミナー講師 堺市博物館 2月

## 図書館だより

新入生の皆さん、大学生活には慣れましたでしょうか。本学図書館は、皆さんの授業や研究をサポートする図書や雑誌を収集し、提供しています。参考調査も行っており、皆さんが必要な情報を収集するお手伝いもします。ぜひ、図書館をご利用ください。

また、授業の合間に図書を読んだり、映画を観たり、インターネットなどを利用したり、といった娯楽やWord・Excelでのレポート作成、友達との待ち合わせなどにも図書館はご利用いただけます。

図書館は皆さんの身近な場所でありたいと思っています。そしてその中で皆さんが良い本に出会い、学生生活の思い出になるよう願っております。

最後に新入生の皆さんにお薦めの図書を紹介します。



**大学  
学びのことはじめ**  
佐藤智明、矢島彰、  
山本明志編集  
ナカニシヤ出版



**ピワイチ公式ガイド  
ちずたび  
びわ湖一周自転車BOOK**  
輪の国びわ湖推進協議会編著  
西日本出版社



**改訂  
キャリアデザイン  
入門**  
菊池信一著  
光生館



**最新情報版  
大学生が狙われる  
50の危険**  
株式会社三菱総合研究所、  
全国大学生生活協同組合連合会、  
全国大学生協済生活協同組合連合会著  
青春出版社



**マジ文章  
書けないんだけど**  
前田安正著  
大和書房

## 訃報

学校法人純美禮学園 前理事長

**中野 幹夫様**が、平成29年12月9日にご逝去されました。ここに、謹んでお悔やみ申し上げ、追悼の意を表します。

## 人事異動

### 退職

(3月31日付異動)

学 長	佐藤 尚武
幼児教育保育学科	教 授 手良村 昭子
生活学科	特任教授 柳父 立一
	嘱託職員 松野 千絵 (美術準備室)
	非常勤職員 牧野 千里 (乳幼児総合研究所)

### 採用

(4月1日付異動)

学 長	秋山 元秀
生活学科	教 授 笹倉 千佳弘
幼児教育保育学科	特任教授 林 幸範
ビジネスコミュニケーション学科	特任教授(非) 中村 吉弘
	嘱託職員 吉野 香 (美術準備室)
	非常勤職員 吉澤 松美 (入試広報課)
	非常勤職員 大橋 明子 (乳幼児総合研究所)

## 滋賀短期大学名誉教授称号授与

**前滋賀短期大学学長 佐藤 尚武氏に、  
長年の功績をたたえ、滋賀短期大学名誉教授の称号が  
平成30年4月3日に授与されました。**

## 公開講座について

平成30年度の公開講座について、下記のとおりお知らせいたします。

また、すみれキャリア講座及びこども講座についても開催いたしますので、詳しくは下記までお問合せください。

**滋賀短期大学 地域連携教育研究センター**  
**☎077-524-3605**

### 滋賀短期大学・滋賀医科大学共催公開講座

日 程：平成30年7月14日(土)

場 所：滋賀短期大学

テーマ：認知症と栄養

#### ○講演の部【100名】

場 所：滋賀短期大学3号館 SUMIREホール(311教室)

時 間：午前9時30分～午前11時20分

・「認知症を基礎から学ぶ」

滋賀医科大学附属病院 神経内科 講師 金 一暁 氏

・「認知症予防を食事から考える」

滋賀医科大学附属病院 栄養治療部 管理栄養士 高岡あずさ 氏

#### ○調理実習の部【30名 ※講演の部受講者のみ受講可】

時 間：午前11時30分～午後3時

・「タイトル未定」

滋賀短期大学 生活学科 教授 原 知子 氏

滋賀医科大学附属病院 栄養治療部 管理栄養士 仲川 満弓 氏

### 淡海文化講座

開催日：平成30年10月13日(土)

場 所：滋賀短期大学3号館 SUMIREホール(311教室)

午後1時～午後1時50分

・「タイトル未定」

滋賀短期大学 生活学科 教授 原 知子

滋賀医科大学附属病院 栄養治療部 管理栄養士 仲川 満弓 氏

午後2時～午後2時50分

・「運動の基本“歩行”～ノルディック・ウォーキングのすすめ～」

滋賀短期大学 幼児教育保育学科 教授 北尾 岳夫

午後3時～午後3時50分

・「滋賀県人の金融リテラシーについて」

滋賀短期大学 ビジネスコミュニケーション学科

教授 小山内 幸治

開催日：平成30年10月27日(土)

場 所：滋賀短期大学3号館 SUMIREホール(311教室)

時 間：午後2時30分～午後4時30分

・「クラシック音楽の愉しみ ～木管五重奏の響き～」

日本センチュリー交響楽団ファゴット奏者 宮本 謙二 氏 他

### 昇任

(4月1日付異動)

幼児教育保育学科	准 教 授	李 霞 (講師)
	講 師	浜崎 由紀 (助教)
	講 師	松井 典子 (助教)
	教務課長	中村 治重 (教務課長心得)
	学生支援課長	大伴 嘉彦 (学生支援課長心得)
	学生支援課主任	松岡 佑樹 (学生支援課主事)
	入試広報課主任	池田 貴彦 (入試広報課主事)

### 配置換え

(4月1日付異動)

入試広報課係長	田中 知恵子 (学生支援課係長)
学生支援課主任	酒井 弘子 (教務課主任)
教務課主事	高橋 英司 (入試広報課主事)

## 寄付報告

滋賀短期大学教育研究充実基金に1件のご寄附を賜りました。ここに、ご寄附を賜りました方のご芳名を掲載させていただき、感謝の意を表します。

土肥 雅子様